

タイトル：汚名返上！～介護職員から始める排泄コントロール～

キーワード

便秘改善

自然食品

キーワードについては
必ず3つ記入の事！！

【施設名】：特別養護老人ホーム かおる園

研究者 (取組に関わった方 のお名前5名まで)	氏名	職種	備考
	① 仲村悠希	介護職員	
	②		
	③		
	④		
	⑤		

施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人	経営主体	社会福祉法人 明和会
開設年月日	平成19年4月1日	所在市町村	新十津川町
市町村人口	6859 人	65歳以上人口 (高齢化率)	2506人 (高齢化率 36.5%)
利用者定員数	100 人	利用者平均年齢	87.7 歳
職員数	54 人	職員数内訳	介護職 38名 看護職 5名
併設施設・事業	通所介護(利用定員 30人)、短期入所生活介護(3床)		
施設のサービスの概要	高齢者が住み慣れた地域社会で暮らすための施設として、認知障害、身体的な障害の有無にかかわらず、その人らしい、安心できる生活を支える。又、利用者一人一人の生活課題や身体状況に着目し、状態の維持または改善に繋がるサービスの提供。		

発表の概要

<p>①取り組んだ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> かおる園の4フロアは26名中14名が定期的なし、随時下剤を使用し排便を行っている。これは、かおる園にある4つのフロアの中で当然最低の数字である。 そこで、自然の食品や介護職員でもできる手当てを利用して、下剤を使用せずにスッキリと排便していただけるよう、便秘の改善に取り組んだ。 <p>②具体的な取り組み</p> <p>【便秘の状況を把握する】</p> <p>①個別に陰性・陽性どちらの便秘であるかを把握する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 陰性便秘の方 →葛湯を提供。体を温めるように対応する 陽性便秘の方 →飲み物にきな粉やはちみつを使用して提供する。 <p>以上を行い、便秘の方の便の形状や排便までの周期についてどのように変化するかを記録し、評価を行う。</p> <p>②腹部膨満のある方への対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 腹巻の使用 生姜湯の提供 <p>以上を行い、取り組み前から腹部周りの数値の変化を評価する。</p> <p>③排便の正常化</p> <ul style="list-style-type: none"> 玄米ご飯の提供 <p>以上を行い、取り組み前から排便状況がどのように変化したかを評価する。</p>	<p>③活動の成果と評価</p> <p>①これまでは、一律で「便秘に良いもの」と言われているヨーグルトや食物繊維を添加して提供してきていたが、個別に対応したことで、結果が出ている。</p> <p>②腹部周りの数値が若干の改善みられていた。今後、運動と併用することでさらに効果をアップさせていく。</p> <p>③便の形状が改善している。今後、味についての工夫が必要。</p> <p>④今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事や運動、水分をトータル的に考え、下剤に頼らない排便ケアができるように、今後も一人一人のご利用者さまに合わせたケアを提供していく。 <p>⑤参考資料など</p> <p>からだの自然治癒力をひきだす食事と手当て 新訂版(著 大森一慧)</p>
---	---